

南日本新聞に掲載されました！
【令和5年1月23日(月)付】



天職

○：錦江町城元の池田小学校の石踊晴元校長(59)はいつもニコニコ、愛嬌(あいぎょう)たっぷり。地域の厚い協力を受け、農業をはじめ伝統の神舞も教わるなどして、児童13人のミニ学校を盛り上げている。

親しみやすく頼れる存在で、住民や児童から愛されており、校長の仕事はまさに天職だ。

○：そんな石踊さんが元日、学校近くの旗山神社に初詣したときのこと。前迫芳文宮司(65)から突然、正月行事「柴祭り」への「出演」を頼まれた。本番まで2日しかない。不安もあったが、人の良い石踊さんは引き受けた。

○：祭り本番。神職のような姿で石踊さんが登場すると、見物客から「似合う」と歓声が。弓矢を使い、わらで編んだイノシシを射止める狩人役を務めるなど大活躍。3時間の神事をこなし、前迫宮司も絶賛。見物客も「校長の転職先が決まったぞ」「まさに天職だ」と初笑いだった。(南大隅支局)